

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が結核患者登録に及ぼす影響について —2019年と2020年の1月から4月の月報登録数の比較—

結核研究所臨床・疫学部
副部長 内村 和広

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大と、非常事態宣言をはじめとする社会の対応が、外出自粛など人々の行動の変化やソーシャルディスタンスなど人々の間での接触機会の変化を引き起し、結核感染の低下へと影響を及ぼしている可能性がある。その一方で、医療機関、自治体、保健所の業務の多くがCOVID-19対応に追われ、結核対策関連業務の圧迫が結核患者発見などの低下を招くといった影響も懸念される⁽¹⁾。そこで、2019年と2020年それぞれの1月から4月における結核患者登録数を比較することで、その影響を調べた。

方法

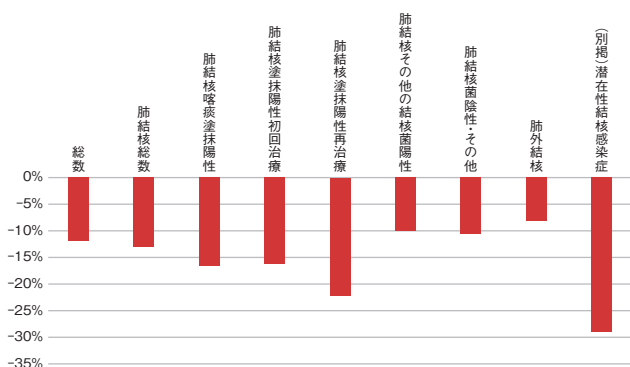
2019年と2020年の1月から4月に結核登録者情報システムに登録された新登録結核患者数を月報報告⁽²⁾より比較した。

結果

1. ベースとなる減少率について

2018年と2019年の12月時点の月報登録の積み上げ数の比較では、届出数は全結核で7%、塗抹陽性肺結核で9%の減少であった。また、2014年から2018年の年報による新登録数の年間の減少率は、全結核で5.6%、塗抹陽性肺結核で6.8%の減少であった。これらを減少のベースとして考えて、2020年1月から4月の新登録患者数の増減を検討した。

図1 活動性分類別減少率，
2019年から2020年，1月から4月の新登録患者数



2. 活動性分類別の減少

2020年1月から4月の新登録患者数は3,944人であった。2019年は4,483人であったので539人、率にして12%の減少であった。肺結核喀痰塗抹陽性患者は2019年の1,552人から1,294人と258人（17%）の減少であった。図1に2019年から2020年の活動性分類別減少率を示した。活動性分類別ではいずれもベースの減少率よりも減少していたが、肺結核喀痰塗抹陽性は大きく減少していた。さらに、潜在性結核感染症要治療者は677人（29%）の大幅な減少であった。

3. 性・年齢階級別の減少

性別では男が2,690人から2,371人の減少、女が1,793人から1,573人の減少で、ともに12%の減少と違いはなかった。年齢階級別では、10～19歳で48人から36人と25%の減少がみられた。一方、30代、40代ではベースの減少率もしくはそれ以下であったが、高齢層は減少が大きくなり、90歳以上で618人から504人と18%の減少がみられた。

4. 日本出生・外国出生別の減少

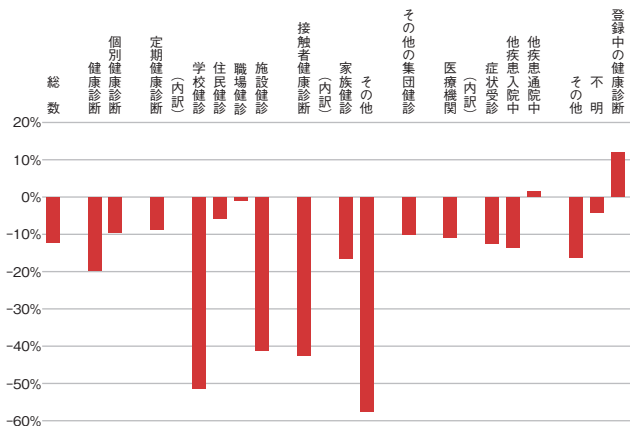
日本出生患者は3,865人から3,353人と13%の減少であった。一方、外国出生患者は432人から428人と1%の減少でベース減少率よりも小さく、ほぼ変化がなかった。特に、外国出生患者の入国からの期間別で見ると、入国から5年以内の患者は222人から201人と9%の減少であったが、それ以外は210人から227人と8%の増加であった。

5. 発見方法別の減少

発見方法別減少率をみると、最も発見患者数の多い医療機関発見は3,683人から3,284人と11%の減少であった。ただし、他疾患で通院中での発見は1%の減少にとどまった一方で症状受診発見は12%の減少であった。また、定期健診発見は全体では9%であったが、学校健診発見は37人から18人と51%の減少、施設健診は17人から10人と41%の減少であった。さらに、接触者健診発見が220人から126人と43%の減少と大きな減少となり、特に家族以外の接触者健診は141人

から60人と57%の大幅な減少であった。図2に発見方法別減少率を示した。

図2 発見方法別減少率，
2019年から2020年，1月から4月の新登録患者数



考察

2019年と2020年の1月から4月の月報による新登録結核患者数を比較すると、例年よりも大きな減少がみられた。特に、塗抹陽性肺結核患者数は昨年の減少の2倍に近い減少がみられていることは注意が必要と考えられた。また、特定の条件では登録患者の大きな減少がみられた。まず、学校休校にともない、学校健診発見は大きく減少した。さらに、接触者健診発見患者が41%の減少、特に家族健診以外の健診発見は昨年の4割程度しかなかった。COVID-19の感染拡大にともなう保健所業務負担の増加や非常事態宣言および人々の活動自粛にともなう接触者健診未受診などの原因が考えられるが、もしも健診未受診者からの患者発生が増加することがあれば、今後の結核の発生動向に大きな影響を与えることになる。今後のより注意深いモニタリングが必要と考えられた。🐼

参考文献

(1) Glaziou P. Predicted impact of the COVID-19 pandemic on global tuberculosis deaths in 2020 [Internet]. *Epidemiology*; 2020 May [cited 2020 May 6]. Available from: <http://medrxiv.org/lookup/doi/10.1101/2020.04.28.20079582>

(2) 結核登録者情報調査月報報告.
<https://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/toukei/2/>